

Copilot (コパイロット)

JJ1SXA/池

Windowsの2023年の大型アップデートの目玉とされる、Copilot (コパイロット)はAIアシスタントだ、ちなみにCopilotは「副操縦士」という意味だ。

タスクバーにある「Copilot」のアイコンをクリックするか、キーボードの「Windows + C」の同時押しで起動する。

起動すると、最初に会話のスタイルを選択するメニューが表示される、三択あり、標準では「よりバランスよく」が選ばれているが、正確さを重視する場合は「より厳密に」を、物語の生成など、創造性を重視する場合は「より創造的に」を選べば良いようだ。

後は、最下段の入力欄(「何でも聞いてください」の記載がある)に質問や要望を入力、右にある「紙飛行機」アイコンの送信ボタンを押すか、「Enter」キーを押すというのが、基本的な使い方だ。

入力欄に質問や要望を入力する際、続く言葉の候補が灰色で表示されることがある、「Tabキー」を押すと自動入力できる。

回答の中で下線の引かれた部分はリンクになっている、CopilotはWebの情報を学習して回答を生成するため、参考にしたウェブページをリンクで示すのだ、回答に間違いが無いかわりの情報で確認したり、より詳細な情報を得たりできる。

回答をコピーして他のアプリで活用したい時は、右上の「コピー」ボタンを使う、Wordに貼り付けるとウェブページへのリンクはそのまま維持される、メモ帳などにテキスト形式で貼り付けた場合は、末尾にURLのリストが作られる。

「明日の天気」のような最新情報に対応できるのも特徴、無料の「ChatGPT」が2022年1月までの情報しか学習していないが、Copilotはウェブ上の公開情報を随時学習しているので、直近のニュースなどにも対応する。

なお、同じ会話の中で全く別の質問をしようと、前の文脈を引きずって適切な回答を得られないことがあるので、「新しいトピック」を押して会話をリセットする。

「新しいトピック」を押すと、それまでの回答がリセットされ消えてしまう、消したく無い回答は、コピーして保存だ。

Win10のサポート期限は2025年10月14日ですが、何故か、Win10にもCopilotが搭載された、ただし、Windows10でCopilotを使うためのPCの要件として、4GB以上のRAMと720ピクセル以上の解像度をサポートするディスプレイアダプタが求められ、PCが要件を満たさない場合、セーフガードホールドが適用され、Copilotは提供されない可能性があるようです。

以上の他、ブラウザー「Edge」で開いたコンテンツについても質問できるようだ、開いたウェブページで「このページを要約して」などと頼むこともできるようだ、また、パソコンの操作、アプリの起動や設定等の機能の他、画像の検索、画像の説明、画像の生成等々まだまだ色々のことが可能のようだが、中々試しきれない、此処らで一休み、勉強の続きは続編「その2」として近日中に発表する予定。

(2023年12月記)